

実施日：令和5年6月9日（金） コマ：1

事業名：独立行政法人航空大学校運営費交付金

とりまとめ結果：事業内容の一部改善

現状通り0名	事業内容の一部改善5名	事業全体の抜本的な改善0名	廃止0名
--------	-------------	---------------	------

【とりまとめコメント】

- 入学、教育、卒業後それぞれのフェーズにおける教育の質の向上策に関する PDCA がレビューシートにも反映されるようにすべき。
- 今後の少子化を見据え、航空需要の増大に応えるため、航空会社への調査結果とその反映、入学時の選抜方法などについて引き続き見直しを行い、継続的に改善すべき。
- 将来の少子化を踏まえ、より真剣に育成できる人数を検討すべき。
- 学生訓練時間数の確実な達成をするための必要な方策を検討すべき。
- 質の向上についてのアウトカム目標をより具体的に設定するとともに、私立大学なども含めた量の目標値も検討すべき。
- 1者応札について地方の実情など実態を見極めて改善するための工夫を検討すべき。

【外部有識者の主なコメント】

- ・ 基礎的な EBPM の観点から、政策効果をより発揮できる形で運営していくための PDCA は明らかになった。この内容をレビューシートにも反映すべき。
- ・ 操縦士の担い手不足、質の高い操縦士の育成に努力をしている一方で、少子化等の社会情勢の変化に鑑み、より精緻な分析を行い、カリキュラム改善につなげる等の取組が必要。
- ・ 人材の供給に関する将来予想が不十分で、計画の実現性が弱いと感じる。より真剣に育成ができる人数を検討すべき。
- ・ 学生訓練時間数の確実な達成をお願いしたい。
- ・ 人材供給機関として、質の向上のみではなく、私立大学なども含めた量の側面の目標値も必要ではないか。
- ・ 1者応札が多いモノやサービスについて、標準化や共通化の工夫、共同調達などの工夫が必要ではないか。